

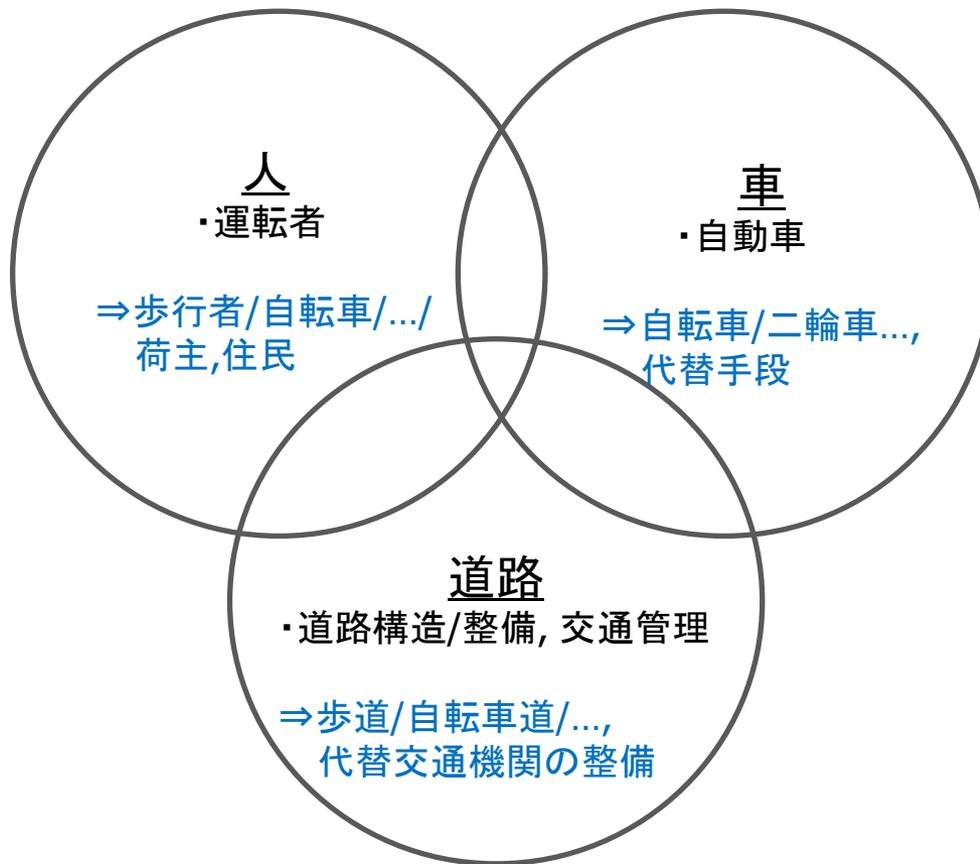
パネルディスカッション

## 交通文化と安全へ: Vision Zeroに向けた新たなステージ

---

- 基調報告
- ショートプレゼンテーション
- パネルディスカッション(15:50～17:20)      司会 太田勝敏
  1. 目標の内容・役割(背景、対象、焦点)
  2. 達成戦略, 施策(3Eー技術・規制/取締り・教育ーとの関係)
  3. 新たなステージへの展開とIATSSの役割

# 1. 3E(技術、規制・取締り、教育)アプローチ から Safe Systemアプローチ、Vision Zeroへ



道路交通システム  
(整備・管理・運用の制度・仕組み)

⇒統合交通システム  
(安全システム管理)

特徴:

・予防安全, 運転者に焦点  
⇒プラス衝突安全, 衝突を前提

変化の背景要因:

・高齢化、自転車利用  
・交通弱者、社会的包摂・格差問題  
・技術革新(ITS, ASV, 自動運転)

☆IATSSシンポジウム、2016.11.19, 太田勝敏

## 2. 新しい取り組み：統合交通安全システム

－3Eから戦略的4R (Reduce car use, Reduce crush risk,  
Reduce crush damage and Rehabilitation)

☆2016.11.19 太田勝敏

### 1. 平常時(事前)

移動時 — 車運転・同乗  
          — 他手段の利用

移動以外での道路使用  
(散歩, 遊び, イベント)

車利用抑制(MM, 代替手段整備)

予防安全(教育, 指導取締り、技術)

### 2. 事故時

直前-衝突-直後

衝突安全 Passive Safety  
(外傷エネルギー管理)  
(死傷の軽減)

### 3. 事故後

救急活動

(通報・救助,  
救急医療)

リハビリ活動

(回復医療,  
社会復帰)

(フィードバック)